

様式第2号（第9関係）

浄化槽放流水地下浸透処理事前協議書

年 月 日

（宛先）長野市長

住 所

氏 名

連絡先（電話）

〔法人等にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

浄化槽の放流水を地下浸透したいので、下記のとおり協議します。

記

設 置 者	氏名（法人の場合は名称）			
	住所（法人の場合は主たる事務所の所在地）			
設 置 場 所				
工 事 予 定 期 間		着 工 年 月 日	竣 工 年 月 日	
設 計 者 の 住 所、氏 名 及 び 電 話				施 工 者 の 住 所、氏 名 及 び 電 話
添 付 書 類	1 地形図 2 設計場所の付近の平面図 3 設置場所付近の状況がわかるカラー写真 4 地下浸透処理を行う土地の土質柱状図 5 土壌の浸透試験結果 6 浄化槽の規模、構造及び性能（別添） 7 後処理装置の構造、構造及び性能（別添） 8 地下浸透装置の構造（別添） 9 検水井の構造（別添）			

別 添

浄化槽の構造及び性能

構造区分 (建設省告示第 1292 号による)			
容 量	人槽	処 理 水 量	m ³ /日
処理水水質	BOD	mg/l	
構 造 図 面	(評定された図面を添付)		

後処理装置の規模・構造及び性能

名 称			
メーカー (設計者) 名			
処 理 方 式			
処 理 能 力	処 理 水 量	m ³ /日	
	除 去 率	BOD %	SS %
消毒の方法			
構 造 図 面	(構造図等添付)		

地下浸透処理装置の構造等

メーカー (設計者) 名			
施 工 者 名			
浸 透 面 積 (m ²)			
散水管	列 の 数	長さ (合計) m	
	管 径		
導水管	長さ (合計)	m	管 径
	水位点検孔数		管 径
検 水 井 の 数			
浸透土地の地表の利用計画			
添 付 図 面	平面図、配管図、トレンチ断面図		

検水井の構造

検 水 井 の 材 質		数 (個所)	
検 水 井 の 構 造 図	(構造図面等添付)		

地下浸透事前確認表

設置者 _____ 設置場所 長野市 _____

●地下浸透処理にする理由 (放流できない理由)		
●地下浸透処理可能な土地の条件	結 果	確認結果の特記事項
(1)地表面下2メートル以上の厚さが、砂質土又は粘質土であること。 また、透水性の過大な礫層等放流水が地下の水脈に短絡するような土質でないこと。	良・否	
(2)盛土地盤においては、盛土後1年以上経過していること。	良・否	
(3)地下水位は地表面下から2メートル以深にあること。	良・否	
(4)土壌の浸透速度は過大又は過小でないこと。 その上限は毎分約2.4cm下限は毎分約0.042cmとする。	良・否	
(5)土地の傾斜は、地下浸透を行う敷地の周囲を含めて、16度(30パーセント)以下であってかつ地すべりのおそれがないこと。	良・否	
(6)地下浸透を行う敷地の端から30メートル以内に、井戸等の地下水利用の施設がないこと。	良・否	
●地下浸透に要する面積	結 果	確認結果の特記事項
(1)計画している浸透面積	m ²	
(2)浸透面積は、放流水の地下浸透処理に直接必要となる面積であり、散水管及び散水管の両端から1メートル隔てた線に囲まれた面積の合計とする。	良・否	
(3)処理対象人員一人当たりの最低必要面積は、4平方メートルとする。	良・否	
(4)散水管は、隣地との境界線から2メートル以上離して設置すること。	良・否	

私は、下記合併処理浄化槽の処理水を地下浸透処理するにあたり、地下浸透を行う敷地の端から30メートル以内に、井戸等の地下水利用の施設がないことを確認しました。

記

1. 型式・メーカー _____

2. 人 槽 _____

平成 年 月 日

住 所

氏 名

以上